

平成 25 年度 かながわ森の町内会事業 業務評価書（自己・相互）

（発電課）

1 成果に関する評価について

（1）設定目標は達成できたか

4年目となる平成 25 年度は、累計 120 社以上の企業等から、かながわ森の町内会事業に賛同をいただくことを目標に取り組み、平成 26 年 2 月末日において、既に 132 社から賛同を得られており、設定目標を達成することができた。

しかし、事業開始当初と比較すると、伸び悩んでいる。

（2）効率的・効果的に対応できたか

インターネットの普及による文書の PDF 化（電子化）及び官庁・民間企業のコストカット、ISO などの取組等により、パンフレット等の印刷物もコピー用紙の使用量も全体的に減少が進んでいる。

平成 24 年 9 月より「間伐に寄与する紙」にコピー用紙を加え、コピー用紙の定期的な購入者が出てきているが、新たな賛同者を増やせない中で、間伐支援費の獲得や間伐支援は前年度並みを確保することができた。

（3）協働実施したことで、どのような効果があったか

企業庁にとっては、森の町内会活動に関する経験不足を、環境 NPO「オフィス町内会」の豊富なノウハウにより補い、円滑な事業運営を図ることができた。

また、環境 NPO「オフィス町内会」にとっては、神奈川県における知名度の不足を、神奈川県企業庁が県内企業等よりいただいている信頼により補い、円滑な事業運営を図ることができた。

2 協働の進め方等に関する評価について

（1）対等な関係を保持できたか

対等な関係の保持が図られた。

（2）プロセスは共有できたか

役割分担を定め、随時に打合せや連絡をこまめにとり、プロセスの共有が図られた。

3 役割分担に関する評価について

(1) 役割分担は適正だったか

概ね適正であった。

4 今後の課題と対応について

(1) 今後の課題

ア サポーター企業等の確保

かながわ森の町内会事業に賛同していただいた企業等に、今後も継続して信頼していただくとともに、新たな企業・団体等に、より多くの賛同をいただくため、さらなる工夫に努める必要がある。

イ 間伐対象森林の拡大

間伐を実施する対象森林の拡大に向け、本事業に賛同する県内の森林組合等と、環境NPO「オフィス町内会」の持つノウハウを活用し、さらなる工夫に努める必要がある。

(2) 対応

ア 継続した取組

より多くの賛同をいただくために、提案活動の効率化や新たな活動方法についてさらに検討し実施していく。

賛同していただいた企業等には、「間伐現地見学会」を開催し、本事業への理解を深めていただき、継続的な協力をお願いしていく。

イ 平成27年度以降の取扱の検討

当初の事業期間を5年間(H22-H26)としているが、H26.3策定の神奈川県営電気事業経営計画では、本事業を継続することを定めたが、平成26年度は区切りの年として、これまでの事業実績等を検証するとともに、平成27年度以降の進め方や役割分担、事業形態などを検討する。